



okayama police

令和7年1月

交通事故発生状況

(令和6年中)



令和5年中の交通事故ワースト交差点 県下ワースト1位「大雲寺交差点」

岡山県警察本部
交通部交通企画課

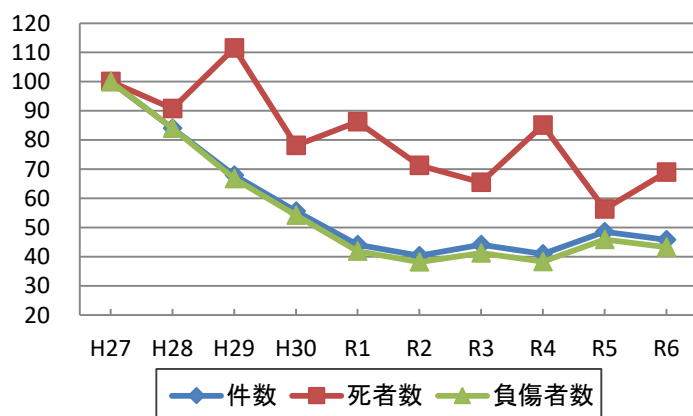
目 次

1	交通事故発生状況	1
2	市区町村別交通事故発生状況	4
3	高齢者の交通事故発生状況	6
4	年齢層別免許保有者の交通事故発生状況	9
5	自転車に関係した交通事故発生状況	10
6	携帯電話使用中の交通事故発生状況	11
7	原付以上運転者(第1当事者)の飲酒運転による交通事故発生状況	12

用語の意味

- 人 身 事 故 人の死傷を伴った事故をいう。
- 物 損 事 故 物の損壊のみの事故をいう。
- 総事故件数 人身事故と物損事故の件数を加えた件数をいう。
- 第1当事者 当該交通事故に関係した者のうち、過失が最も重い者をいい、
過失の程度が同程度の場合は、被害が最も軽い者をいう。
- 第2当事者 当該交通事故に関係した者のうち、過失がより軽い者をいう。
- 関 係 者 第1当事者又は第2当事者をいう。
- 被 害 者 交通事故に関係して死傷した者をいう。
- 昼 間 日の出から日の入りまでの間をいう。
- 交差点付近 交差点の側端から30メートル以内の道路の部分をいう。
- 若 者 16歳から25歳未満の者をいう。
- 高 齢 者 65歳以上の者をいう。

指数 年別推移(平成27年を100とした指数)



交通事故発生状況（令和6年中）

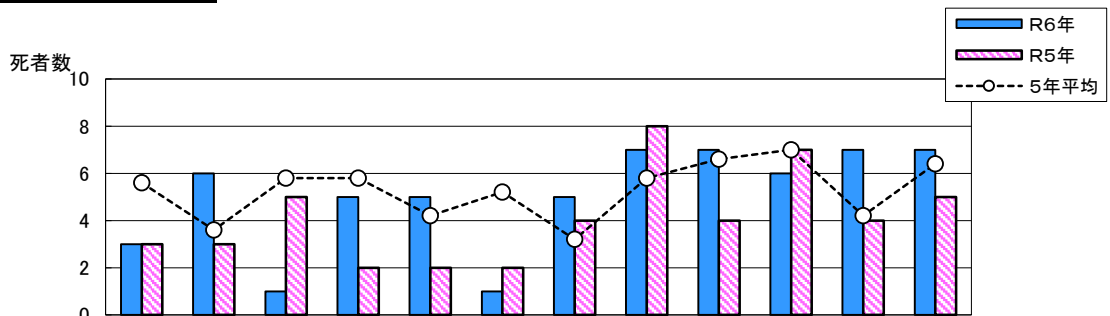
死者数は前年より増加したが、人身事故件数及び物損事故件数は減少した。
 死亡事故の特徴としては、車両単独、正面衝突、追突といった一方的過失の事故による死者が全体の66.7%となっている。
 死者のうち、高齢者の割合は61.7%であり、高齢者の占める割合が高い。
 死亡事故の原因としては、前方不注意、操作不適、安全不確認といった安全運転義務違反が全体の58.6%となっている。
 ～運転に集中し、前をよく見て走りましょう～

1 発生状況

区 分		総事故件数	人 身 事 故						物損事故
			発生件数	うち死亡事故		重 傷	軽 傷	負傷者計	
				件数	死者数				
令和 6 年		50,282	4,869	58	60	597	4,892	5,489	45,413
前年対比	増減数	-431	-292	9	11	-61	-266	-327	-139
	増減率	-0.8	-5.7	18.4	22.4	-9.3	-5.2	-5.6	-0.3
5年平均		49,027	4,634	62.2	63.4	552	4,661	5,213	44,393
5年 平均対比	増減数	1,255	235	-4.2	-3.4	45	231	276	1,020
	増減率	2.6	5.1	-6.8	-5.4	8.1	5.0	5.3	2.3

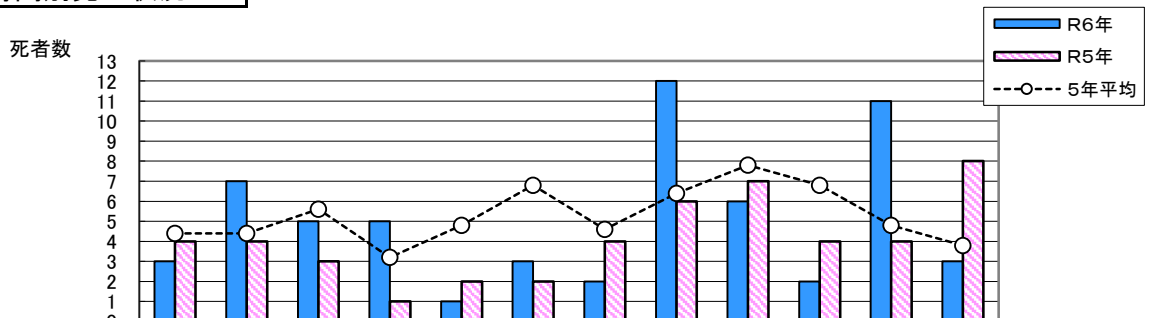
2 死亡事故の発生状況

月別発生状況



○令和6年の死者数は、上半期は21人、下半期は39人となっており、下半期は上半期の約2倍となっている。

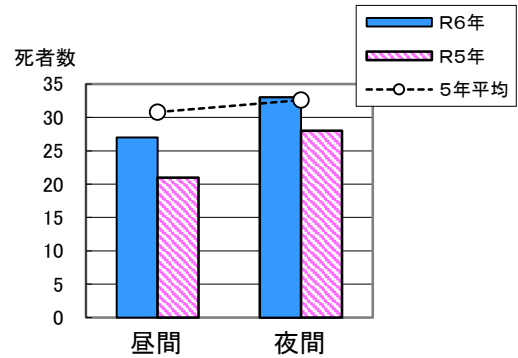
時間別発生状況



○前年と比べて、14～16、20～22時の時間帯で死者数が大きく増加した。

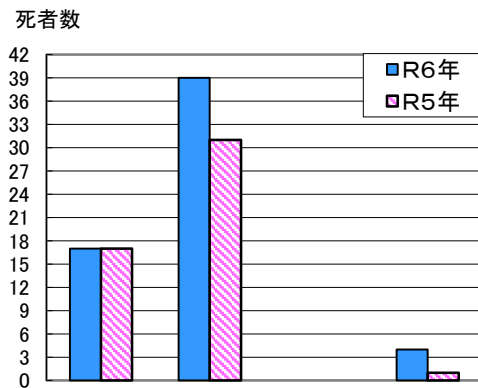
昼夜別死者数

区 分	昼 間	夜 間	合 計
令和6年	27	33	60
令和5年	21	28	49
5年平均	30.8	32.6	63.4



○死者数は夜間の方が多い。(構成率55.0%)

道路形状別死者数



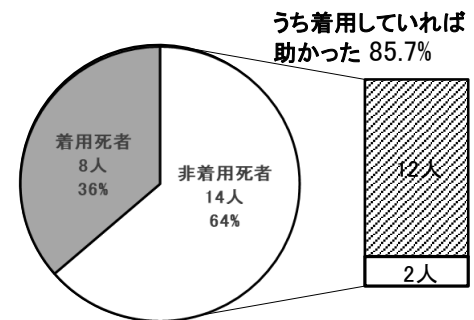
区 分	交差点と付近	単 路	踏 切	その他	合 計
令和6年	17	39	0	4	60
令和5年	17	31	0	1	49

※単路(交差点及びその付近以外の直線・トンネル・橋・カーブ等)

○単路での事故による死者が多い。(構成率65.0%)

シートベルト着用状況

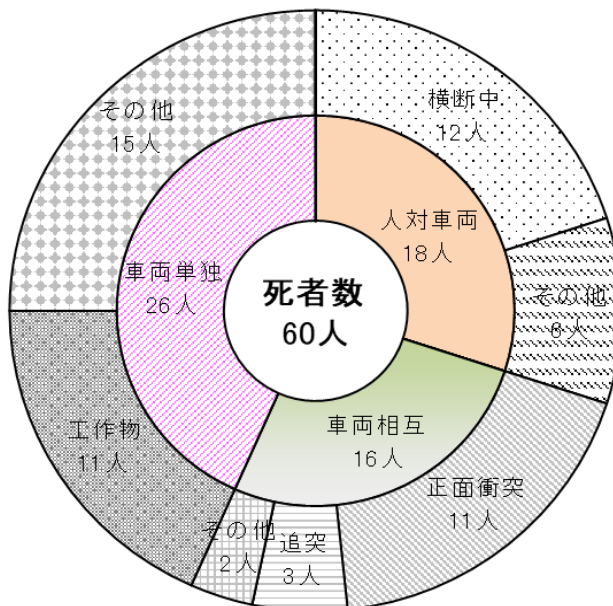
四輪乗車中死者22人中、非着用死者14人、不明0人



区 分	着用死者数	非着用死者数	(うち助命者)	四輪乗車中死者
令和6年	8	14	12	22
令和5年	13	7	7	20

○前年と比べて、非着用死者数が増加している。(助命率85.7%)

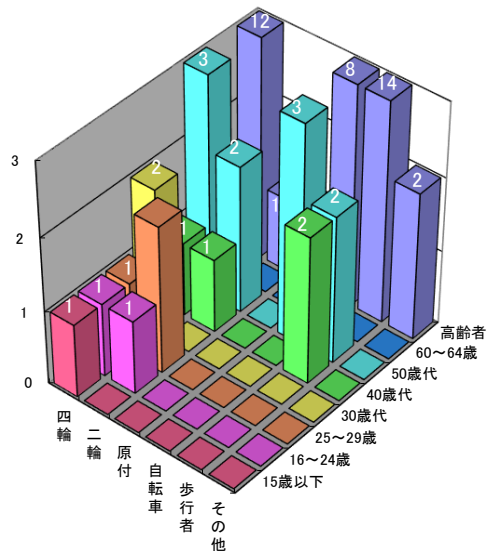
事故類型別死者数



		死 者 数
人対車両	横 断 中	12
	そ の 他	6
	小 計	18
車両相互	正 面 衝 突	11
	追 突	3
	出 合 頭	0
	そ の 他	2
	小 計	16
車両単独	工 作 物	11
	そ の 他	15
	小 計	26
踏 切		0
合 計		60

○車両単独、正面衝突、追突といった一方的過失の事故による死者が全体の66.7%を占めている。

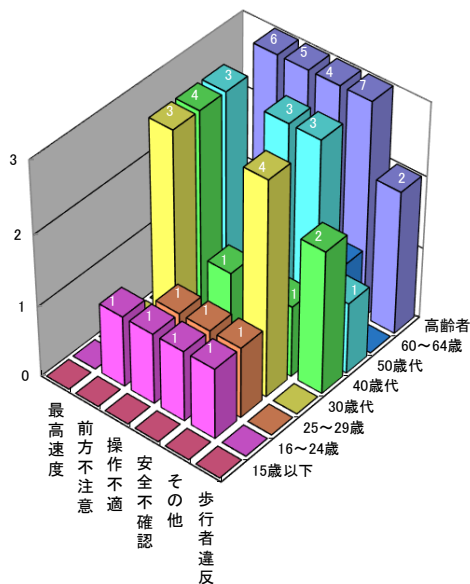
年齢別・状態別死者数



区 分	四 輪	二 輪	原 付	自転車	歩行者	その他	合計	(人)	
								構成率	前年対比
15 歳 以 下	1						1	1.7%	1
若 者	1	1					2	3.3%	-2
25 ~ 29 歳	1	2					3	5.0%	2
30 歳 代	2						2	3.3%	-1
40 歳 代	1	1			2		4	6.7%	-1
50 歳 代	3	2		3	2		10	16.7%	5
60 ~ 64 歳	1						1	1.7%	-1
高 齢 者	12	1		8	14	2	37	61.7%	8
65~74歳	3			2	4		9	15.0%	-2
75歳以上	9	1		6	10	2	28	46.7%	10
合 計	22	7	0	11	18	2	60		11
構 成 率	36.7%	11.7%	0.0%	18.3%	30.0%	3.3%			
前 年 対 比	2	3	-1	5	2	0	11		

○死者のうち、高齢者の割合は61.7%で半数を超えており、そのうちの36.7%は四輪乗車中に亡くなっている。

年齢別・原因別（第1当）件数

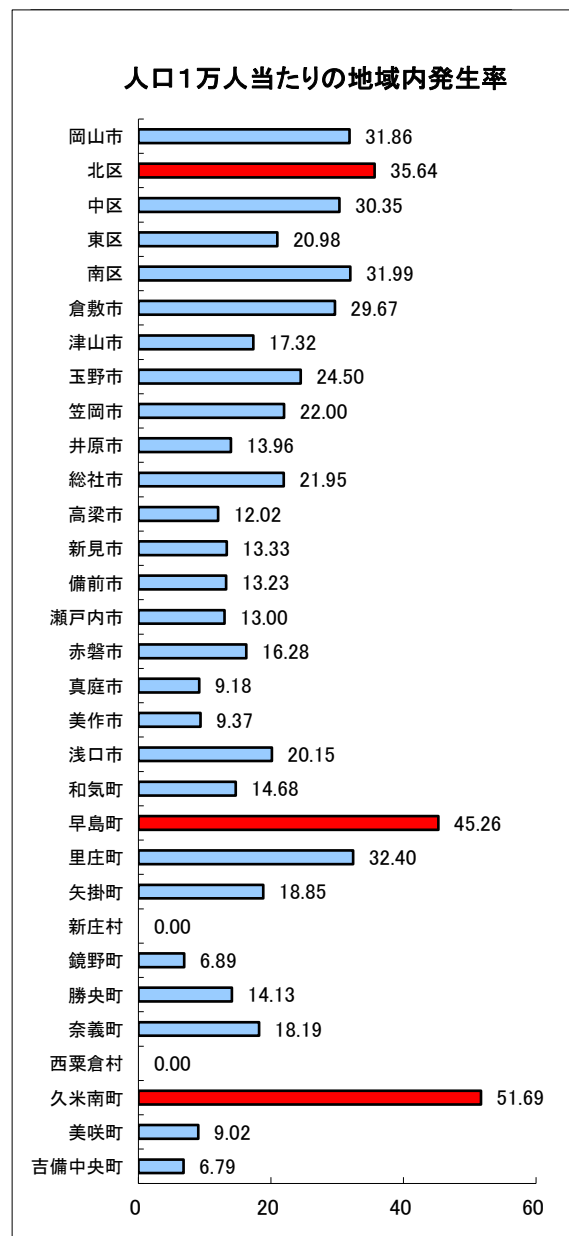


区 分	最 高 速 度	前 方 不 注 意	操 作 不 適	安 全 不 確 認	その他	歩行者の違反	合計	(件)	
								構成率	前年対比
15 歳 以 下							0	0.0%	0
若 者		1	1	1	1		4	6.9%	0
25 ~ 29 歳			1	1	1		3	5.2%	3
30 歳 代		3			4		7	12.1%	2
40 歳 代		4	1		1	2	8	13.8%	1
50 歳 代		3		3	3	1	10	17.2%	3
60 ~ 64 歳	1				1		2	3.4%	0
高 齢 者		6	5	4	7	2	24	41.4%	0
65~74歳		2	1	2	2	1	8	13.8%	-3
75歳以上		4	4	2	5	1	16	27.6%	3
不 明							0	0.0%	0
合 計	1	17	8	9	18	5	58		9
構 成 率	1.7%	29.3%	13.8%	15.5%	31.0%	8.6%			
前 年 対 比	-2	4	-3	3	5	2	9		

○前方不注意、操作不適、安全不確認で、全体の58.6%を占めている。

市区町村別交通事故発生状況（令和6年中）

区 分	市区町村内で発生した事故				市区町村民が起こした事故				住民自身の死者数		人口1万人当たりの発生	
	件数	前年比	死者	前年比	件数	前年比	死者	前年比	死者	前年比	発生率	順位
岡 山 市	2,280	-93	20	6	2,032	-17	20	4	19	3	31.86	-
北 区	1116	19	9	4	803	39	11	5	10	2	35.64	3
中 区	449	1	2	0	481	-13	1	-1	2	0	30.35	6
東 区	190	-56	4	3	221	-35	2	-1	3	1	20.98	11
南 区	525	-57	5	-1	527	-8	6	1	4	0	31.99	5
倉 敷 市	1392	-68	14	7	1298	-127	13	5	15	6	29.67	7
津 山 市	167	-55	1	-3	167	-40	1	-4	1	-3	17.32	15
玉 野 市	131	8	2	2	159	19	0	0	0	0	24.50	8
笠 岡 市	96	5	0	-1	74	11	0	0	0	0	22.00	9
井 原 市	51	-6	1	0	53	-4	1	0	1	0	13.96	19
総 社 市	152	-29	1	-1	177	-23	0	-1	0	-2	21.95	10
高 梁 市	32	-9	3	1	36	-12	1	-1	1	-1	12.02	23
新 見 市	35	-12	1	0	37	-12	0	-1	0	-1	13.33	20
備 前 市	40	0	0	0	62	13	3	3	2	2	13.23	21
瀬 戸 内 市	46	-5	5	4	68	-15	4	3	4	3	13.00	22
赤 磐 市	68	-15	2	0	85	-28	3	0	2	0	16.28	16
真 庭 市	37	-8	4	2	39	-12	7	6	7	6	9.18	25
美 作 市	23	-2	2	0	25	-13	1	1	1	1	9.37	24
浅 口 市	64	10	1	0	83	16	2	2	1	1	20.15	12
和 気 町	19	-7	1	0	22	-18	0	-1	2	1	14.68	17
早 島 町	56	-8	0	0	27	-17	0	0	0	0	45.26	2
里 庄 町	35	11	0	-1	24	8	0	-1	0	-1	32.40	4
矢 掛 町	24	11	0	-1	26	8	0	-1	0	-1	18.85	13
新 庄 村	0	0	0	0	0	-2	0	0	0	0	0.00	29
鏡 野 町	8	-6	0	0	20	0	0	0	0	0	6.89	27
勝 央 町	15	2	0	0	8	-9	0	0	0	0	14.13	18
奈 義 町	10	4	1	0	11	4	2	2	2	2	18.19	14
西 粟 倉 村	0	-1	0	0	1	1	1	1	1	1	0.00	29
久 米 南 町	22	4	0	-1	10	0	0	0	0	0	51.69	1
美 咲 町	11	-13	1	0	19	-1	0	-2	0	-2	9.02	26
吉備中央町	7	-1	0	0	19	5	0	0	0	0	6.79	28
そ の 他	48	-9	0	-3	287	-27	1	-4	1	-4	-	-
合 計	4,869	-292	60	11	4,869	-292	60	11	60	11	-	-



※ その他は高速道路・自動車専用道路又は、県外者

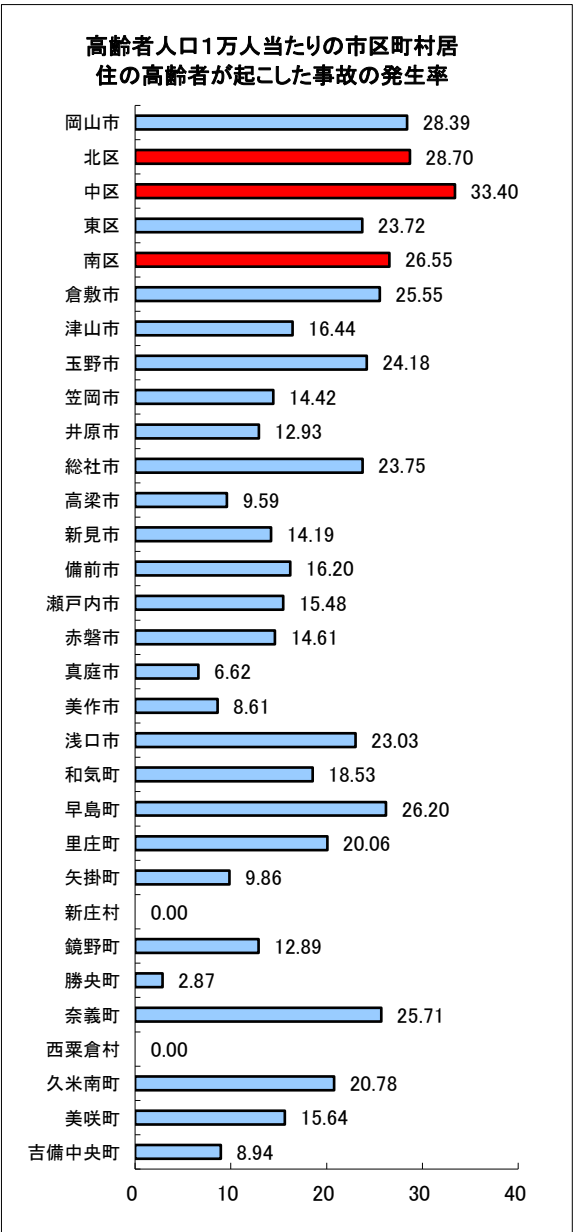
※ 人口1万人当たりの発生率 → $\frac{\text{市区町村内で発生した事故件数}}{\text{市区町村人口}} \times 10,000$

2 高齢者が関係する事故

区 分	市区町村内で発生した事故				市区町村居住の高齢者が起こした事故				住民自身の死者数		高齢者人口1万人当たりの発生率	
	件数	前年比	死者	前年比	件数	前年比	死者	前年比	死者	前年比	発生率	順位
岡 山 市	802	64	9	3	533	69	9	3	11	3	28.39	-
北 区	387	61	3	1	216	61	5	1	6	1	28.70	2
中 区	173	19	2	1	129	18	0	-1	1	0	33.40	1
東 区	80	-4	1	0	68	-2	1	0	1	0	23.72	9
南 区	162	-12	3	1	120	-8	3	3	3	2	26.55	3
倉 敷 市	494	-16	10	4	321	-29	4	0	9	2	25.55	6
津 山 市	70	-34	0	-1	50	-14	0	-2	0	-2	16.44	14
玉 野 市	72	15	1	1	51	1	0	0	0	0	24.18	7
笠 岡 市	41	2	0	-1	24	6	0	0	0	0	14.42	19
井 原 市	30	1	1	0	18	-1	1	0	1	0	12.93	21
総 社 市	64	-1	1	-1	47	-4	0	-1	0	-1	23.75	8
高 梁 市	13	-7	2	0	11	-5	1	-1	1	-1	9.59	24
新 見 市	18	-11	0	0	16	-5	0	0	0	0	14.19	20
備 前 市	19	6	0	0	20	7	0	0	0	0	16.20	15
瀬 戸 内 市	16	-6	3	2	19	-8	3	2	3	2	15.48	17
赤 磐 市	28	-18	2	0	21	-23	0	-3	1	-1	14.61	18
真 庭 市	19	-1	3	2	11	-7	2	1	5	4	6.62	27
美 作 市	10	-6	1	0	9	-7	1	1	1	1	8.61	26
浅 口 市	28	8	1	1	27	7	2	2	1	1	23.03	10
和 気 町	10	-3	1	1	10	-2	0	0	2	2	18.53	13
早 島 町	13	-2	0	0	9	-1	0	0	0	0	26.20	4
里 庄 町	14	4	0	-1	7	2	0	0	0	-1	20.06	12
矢 掛 町	7	2	0	-1	5	-2	0	-1	0	-1	9.86	23
新 庄 村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	29
鏡 野 町	4	-4	0	0	6	-5	0	0	0	0	12.89	22
勝 央 町	5	0	0	0	1	-4	0	0	0	0	2.87	28
奈 義 町	7	3	1	0	5	4	1	1	2	2	25.71	5
西 粟 倉 村	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	29
久 米 南 町	4	-2	0	0	4	2	0	0	0	0	20.78	11
美 咲 町	7	-4	1	0	8	-1	0	-1	0	-1	15.64	16
吉備中央町	2	-3	0	0	4	-1	0	0	0	0	8.94	25
そ の 他	6	-3	0	-1	41	1	0	-1	0	-1	-	-
合 計	1,803	-17	37	8	1,278	-20	24	0	37	8	-	-

※ その他は高速道路・自動車専用道路又は、県外者

※ 高齢者人口1万人当たりの発生率 → $\frac{\text{市区町村居住の高齢者が起こした事故件数}}{\text{市区町村の高齢者人口}} \times 10,000$



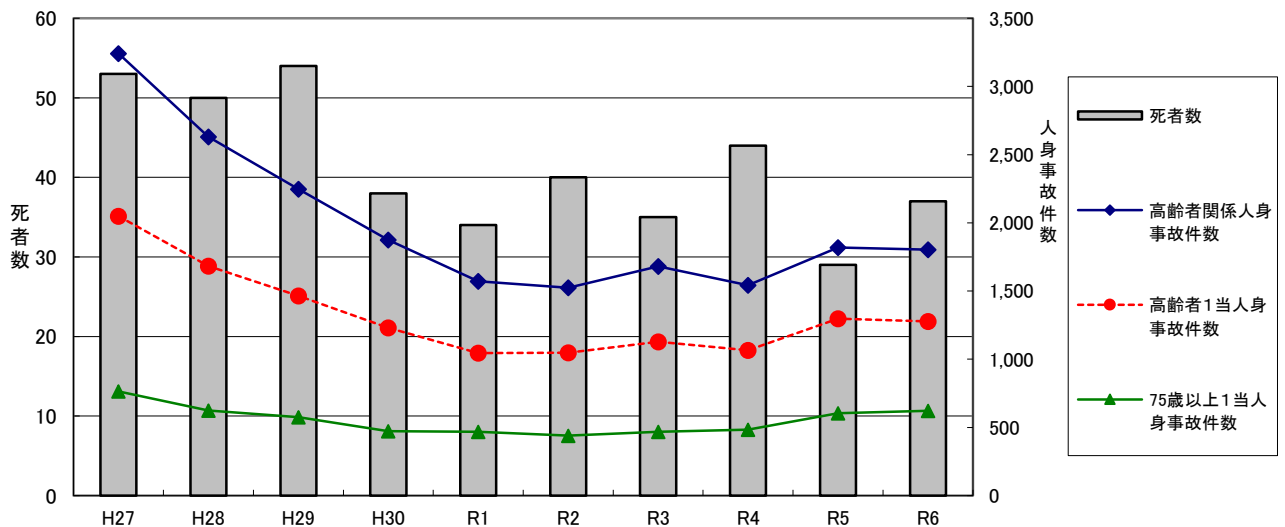
高齢者の交通事故発生状況（令和6年中）

高齢者が関係する人身事故は、令和5年と比較して件数は減少したものの、構成率は増加した。
また、高齢者死者数及びその構成率についても増加した。
事故類型別に見ると、高齢者以外では追突が多いのに対し、高齢者は出合頭が最も多い。
原因を違反別に見ると、高齢者以外では前方不注意が多いのに対し、高齢者は安全不確認が最も多い。

～交差点では、交差車両や歩行者等の安全確認を十分行いましょう。～

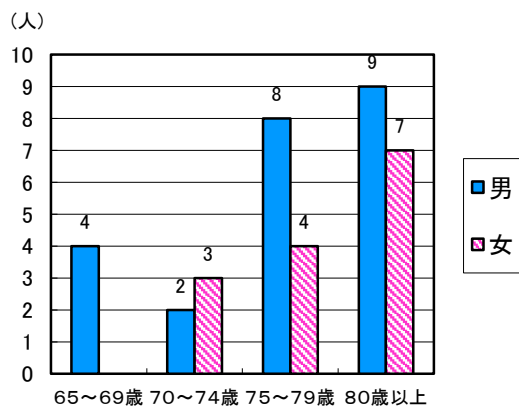
1 10年間の交通事故発生状況

区 分	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
高齢者関係人身事故件数	3,242	2,630	2,246	1,875	1,571	1,524	1,681	1,543	1,820	1,803
構成率(%)	30.5	29.5	31.1	31.8	33.5	35.5	35.9	35.5	35.3	37.0
高齢者1当人身事故件数	2,049	1,682	1,464	1,230	1,045	1,047	1,127	1,065	1,298	1,278
構成率(%)	19.3	18.8	20.3	20.8	22.3	24.4	24.1	24.5	25.2	26.2
75歳以上1当人身事故件数	764	624	575	473	467	440	469	484	603	621
構成率(%)	7.2	7.0	8.0	8.0	10.0	10.3	10.0	11.1	11.7	12.8
高齢者死者数	53	50	54	38	34	40	35	44	29	37
構成率(%)	60.9	63.3	55.7	55.9	45.3	64.5	61.4	59.5	59.2	61.7

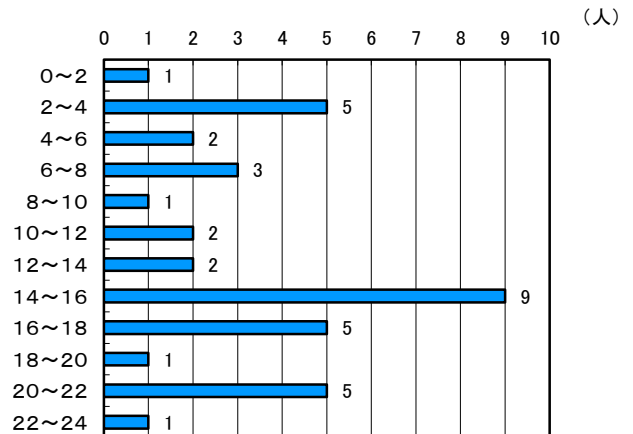


2 高齢者死亡事故の発生状況

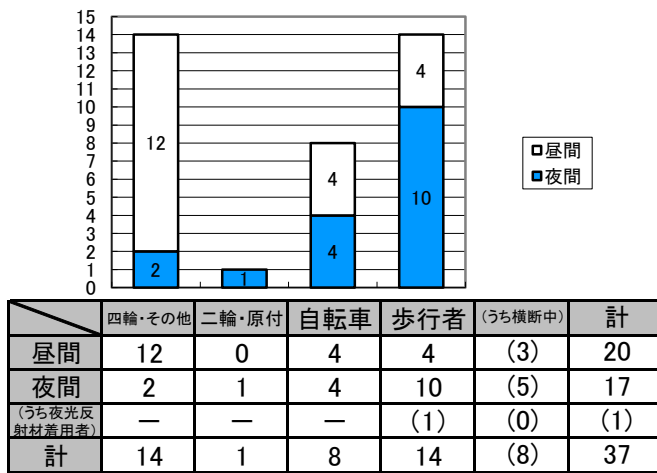
年齢別男女別死者数



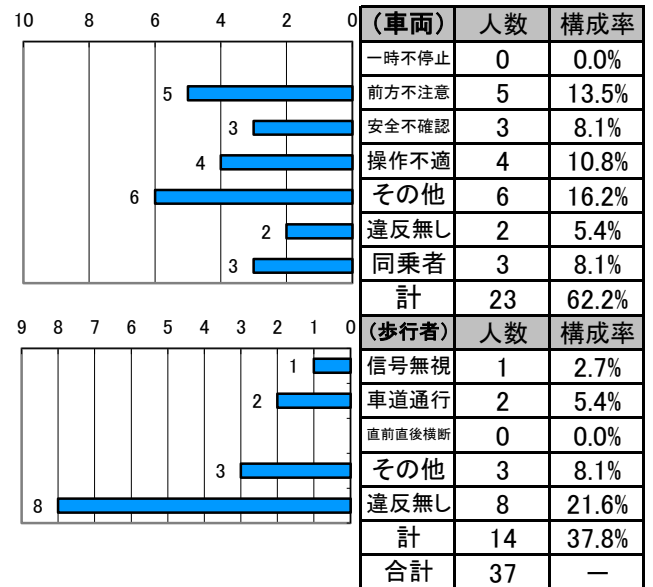
時間別死者数



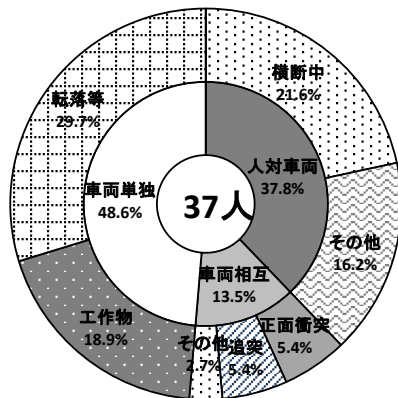
昼夜別・状態別死者数



違反別死者数 ※ 死者の違反による

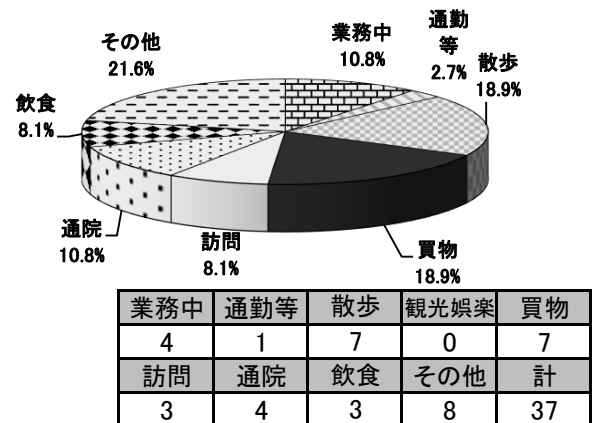


事故類型別死者数

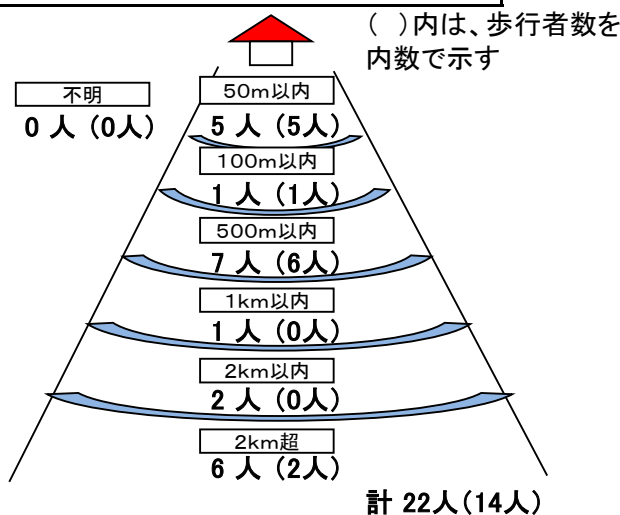


人対車両	横断中	8
	その他	6
	計	14
車両相互	正面衝突	2
	追突	2
	出合頭	0
	その他	1
	計	5
単独	工作物	7
	転落等	11
	計	18
	踏切	0
合計		37

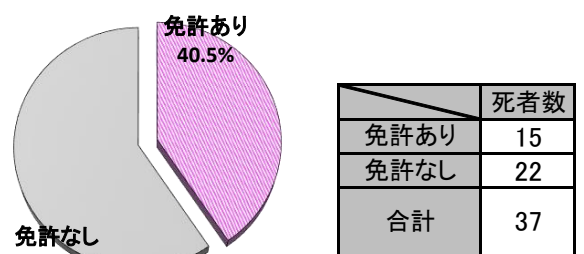
通行目的別死者数



自宅からの距離別死者数(自転車・歩行者)



免許別死者数



○ 高齢人口・免許保有者の占める率

区分	R1	R2	R3	R4	R5
人口					
岡山	30.3	29.6	30.7	30.8	31.0
全国	28.4	28.0	28.9	29.0	29.1
免許					
岡山	26.2	26.3	26.9	27.3	27.8
全国	22.9	23.3	23.5	23.8	24.2

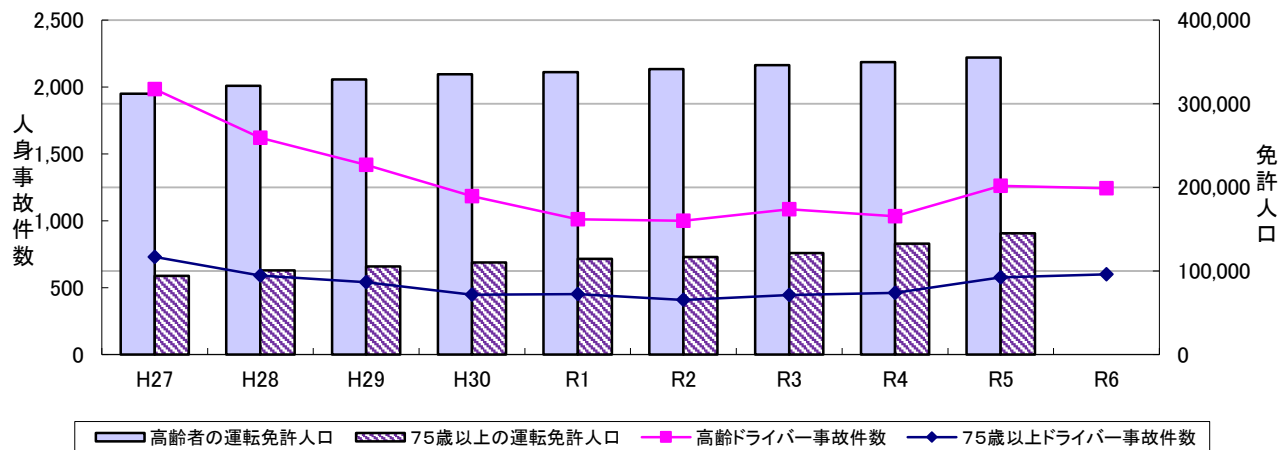
注1 数値は構成率

2 人口は各年の総務省統計資料「10月1日現在の推計人口」による。

3 運転免許保有者数は各年12月末現在の資料による。

3 高齢ドライバー（原付以上）が第1当事者となる人身事故発生状況

10年間の発生状況

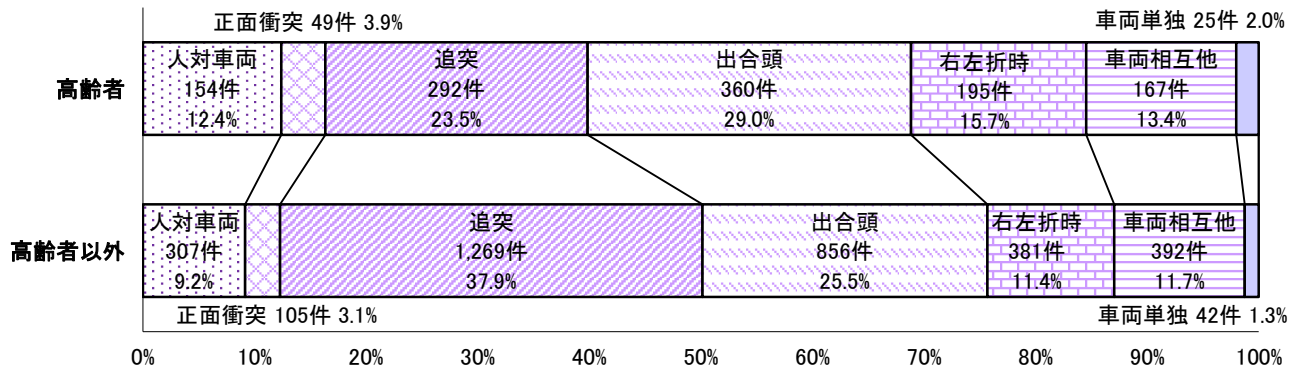


区 分	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
高齢ドライバー事故件数	1,984	1,620	1,419	1,184	1,011	1,000	1,085	1,034	1,261	1,242
構成率(%)	18.7	18.1	19.7	20.1	21.6	23.3	23.2	23.8	24.4	25.5
75歳以上ドライバー事故件数	730	591	541	448	451	408	444	462	577	599
構成率(%)	6.9	6.6	7.5	7.6	9.6	9.5	9.5	10.6	11.2	12.3
高齢者の運転免許人口	311,972	321,521	328,899	335,336	337,851	341,487	346,089	349,690	355,118	-
75歳以上の運転免許人口	94,120	100,559	105,487	110,219	114,308	116,783	121,357	132,837	145,109	-

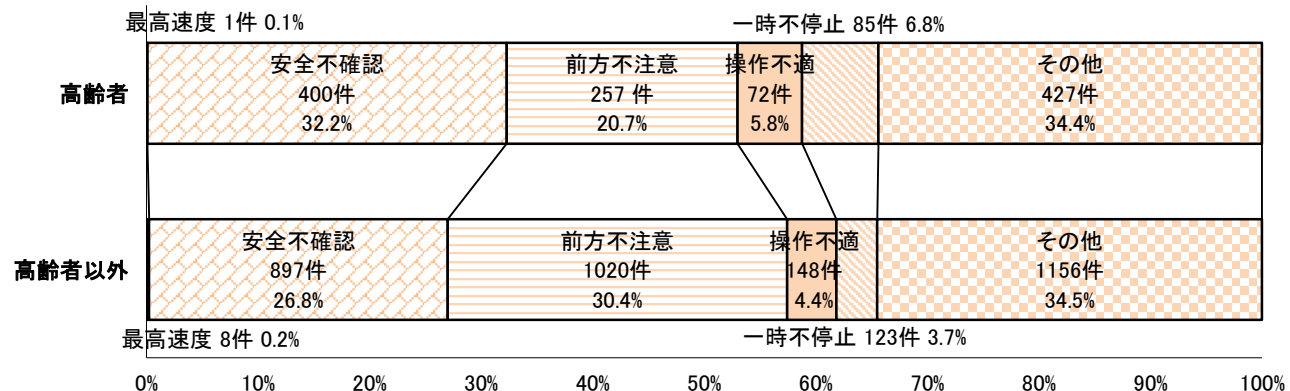
※ 構成率は、全人身事故件数に占める割合をいう。

※ 運転免許人口は各年12月末現在の資料による。

事故類型別

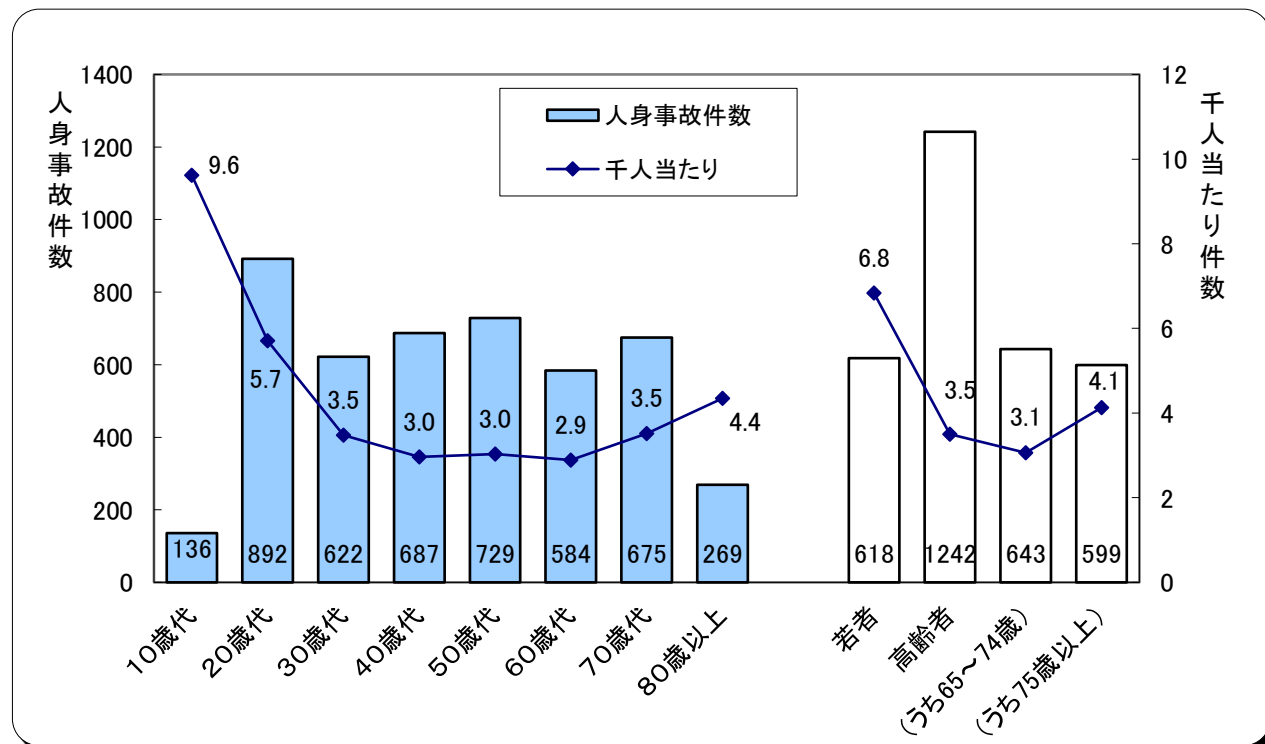


違反別



年齢層別免許保有者の交通事故発生状況(令和6年中)

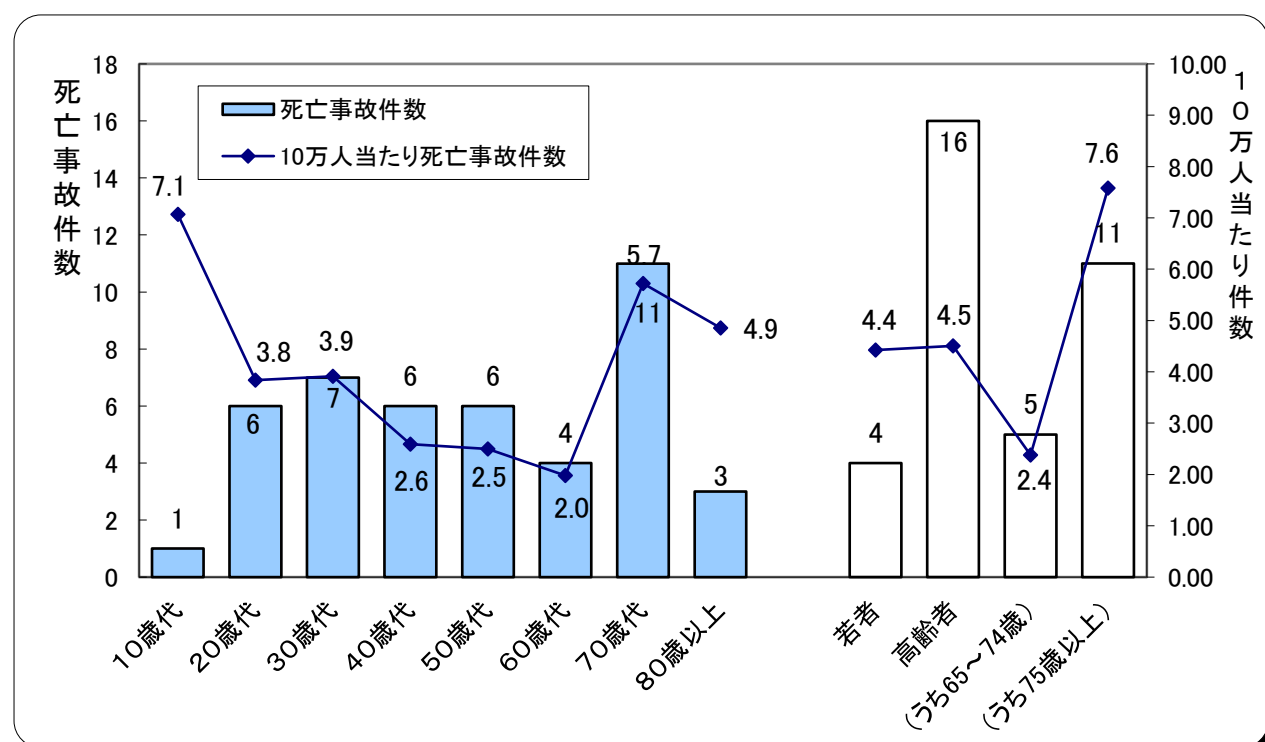
1 年齢層別免許保有者千人当たりの「人身事故」件数【原付以上運転の第1当事者】



※ 若者とは、16歳から25歳未満の者を表す。

※ 免許人口は令和5年12月末現在の資料による。

2 年齢層別免許保有者10万人当たりの「死亡事故」件数【原付以上運転の第1当事者】



※ 免許人口は令和5年12月末現在の資料による。

自転車に関係した交通事故発生状況(令和6年中)

1 交通事故発生状況

	件 数	死者数	負傷者数	重傷者数	軽傷者数
令和6年	1,069	11	1,048	147	901
令和5年	1,146	6	1,134	172	962
増減数	-77	5	-86	-25	-61
増減率	-6.7	83.3	-7.6	-14.5	-6.3

※ 件数は自転車に関係した事故件数、死傷者数は自転車自身の被害を表す。(以下同じ。)

2 月別

(件数)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和6年	82	81	86	93	107	75	88	85	84	93	90	105	1,069
令和5年	56	72	72	85	108	86	74	93	102	141	129	128	1,146

3 時間別

(件数)

	0～	2～	4～	6～	8～	10～	12～	14～	16～	18～	20～	22～	合計
令和6年	6	4	16	142	198	99	93	114	217	122	44	14	1,069
構成率	0.6	0.4	1.5	13.3	18.5	9.3	8.7	10.7	20.3	11.4	4.1	1.3	—

4 道路形状別

	件 数	構成率
交差点	741	69.3
交差点付近	40	3.7
その他	288	26.9
合 計	1,069	—

5 事故類型別

	件 数	構成率
人対車両	14	1.3
正面衝突	21	2.0
追 突	13	1.2
出合頭	625	58.5
右左折時	287	26.8
その他	98	9.2
車両単独	11	1.0
列 車	0	0.0
合 計	1,069	—

6 年齢層別・違反別(第1当事者)

(件数)

	一時不停止	安全不確認	信号無視	操作不適	通行区分	前方不注意	徐行	優先通行	その他	合計	構成率
幼 児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
小学生	6	6	1	1	0	0	0	1	7	22	9.7
中学生	10	4	3	0	6	1	1	0	10	35	15.4
高校生	9	11	1	0	1	6	1	1	13	43	18.9
その他少年	7	3	0	1	0	2	1	0	7	21	9.3
20歳代	11	5	1	1	2	1	1	0	11	33	14.5
30歳代	6	3	2	1	1	0	1	0	3	17	7.5
40歳代	4	4	0	0	0	0	0	0	2	10	4.4
50歳代	4	7	0	0	0	1	0	0	3	15	6.6
60歳代	0	0	0	0	0	2	0	0	3	5	2.2
70歳代	3	5	3	1	0	1	1	0	0	14	6.2
80歳以上	1	5	0	1	0	2	0	0	3	12	5.3
合 計	61	53	11	6	10	16	6	2	62	227	—
構成率	26.9	23.3	4.8	2.6	4.4	7.0	2.6	0.9	27.3	—	—
若 者	24	13	2	2	3	8	3	1	26	82	36.1
高齢者	4	10	3	2	0	4	1	0	6	30	13.2

※ 若者、高齢者は重複計上。

※ 調査不能は除く

携帯電話使用中の交通事故発生状況(令和6年中)

1 携帯電話使用中の交通事故

区 分	全人身事故件数	携帯電話の使用が要因となった人身事故件数		
			死 者 数	負 傷 者
令和6年	4,869	31 (7)	0 (0)	39 (7)
令和5年	5,161	36 (6)	0 (0)	44 (6)
増 減 数	-292	-5 (1)	0 (0)	-5 (1)
増減率(%)	-5.7	-13.9 (-)	- (-)	-11.4 (-)

※ 件数は、携帯電話等の使用が事故要因となった人身事故の件数をいう。(以下同じ。)

※ 死傷者数は、その事故による死傷者をいう。(以下同じ。)

※ ()内は、自転車乗用中の使用を内数で示す。(以下同じ。)

2 月別件数

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
令和6年	2 (0)	0 (0)	5 (2)	3 (1)	0 (0)	2 (0)	6 (0)	3 (2)	2 (0)	4 (0)	3 (1)	1 (1)	31 (7)
令和5年	4 (0)	2 (1)	1 (0)	0 (0)	3 (0)	4 (1)	7 (1)	3 (1)	2 (0)	5 (2)	2 (0)	3 (0)	36 (6)

3 事故類型別件数

区 分	人 対 車 両	車 両 相 互			車 両 単 独	合 計
		追 突	出 合 頭	そ の 他		
令和6年	3 (2)	16 (1)	8 (2)	4 (2)	0 (0)	31 (7)
令和5年	2 (1)	19 (0)	12 (3)	3 (2)	0 (0)	36 (6)

4 男女別件数

区 分	男 性	女 性	合 計
令和6年	17 (4)	14 (3)	31 (7)
令和5年	25 (3)	11 (3)	36 (6)

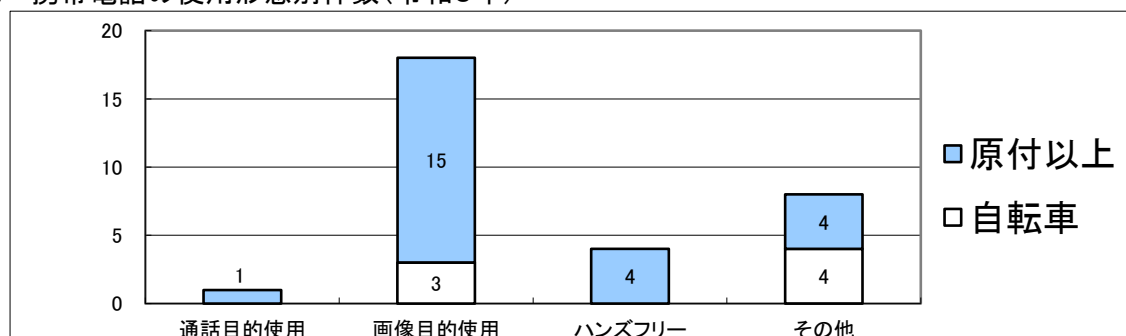
5 昼夜別件数

区 分	昼 間	夜 間	合 計
令和6年	22 (5)	9 (2)	31 (7)
令和5年	24 (3)	12 (3)	36 (6)

6 年代別件数

区分	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	合 計
令和6年	8 (6)	13 (1)	5 (0)	2 (0)	1 (0)	2 (0)	31 (7)
令和5年	4 (1)	13 (3)	8 (0)	9 (1)	1 (0)	1 (1)	36 (6)

7 携帯電話の使用形態別件数(令和6年)



※ 画像目的使用は、「メール、インターネット等の画像を見ていた」など。

※ その他は、「携帯電話を取ろうとした」、「携帯電話に脇見した」、「使用後置こうとした」など。

原付以上運転者(第1当事者)の飲酒運転による交通事故発生状況(令和6年中)

1 飲酒運転の交通事故

(1) 対前年比

	件数	死者数	負傷者数	重傷	軽傷
令和6年	47	6	53	7	46
令和5年	43	3	48	10	38
増減数	4	3	5	-3	8
増減率	9.3	100.0	10.4	-30.0	21.1

※ 件数は第1当事者の飲酒事故件数(酒酔い、酒気帯び運転)をいう。(以下同じ。)

※ 死傷者数はその事故による死傷者数をいう。(以下同じ。)

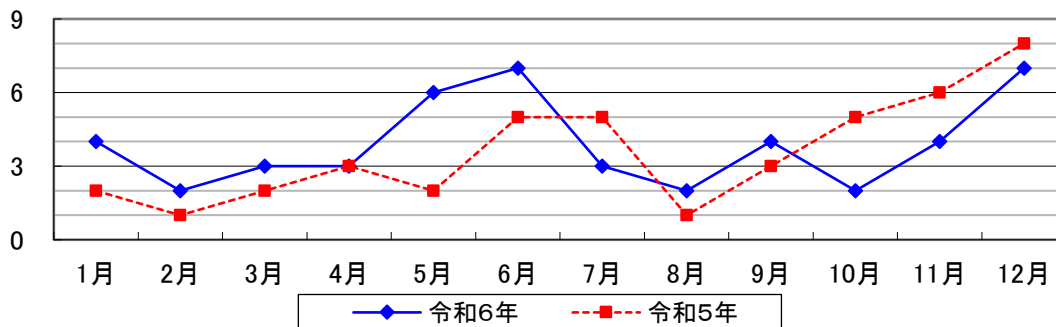
(2) 月別発生状況

ア 事故件数

(件数)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和6年	4	2	3	3	6	7	3	2	4	2	4	7	47
令和5年	2	1	2	3	2	5	5	1	3	5	6	8	43

飲酒運転による交通事故件数



イ 死亡事故件数

(件数)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和6年	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	5
令和5年	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3

◇ 死者数

(死者数)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和6年	0	2	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	6
令和5年	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3

2 年別推移(各年12月末)

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
件数	70	60	47	58	48	40	25	27	43	47
死者数	2	2	2	5	2	3	1	0	3	6
負傷者数	99	73	59	77	58	54	27	39	48	53
重傷	8	10	5	7	8	12	1	3	10	7
軽傷	91	63	54	70	50	42	26	36	38	46

【参考】

- 平成14年 6月 1日 ○ 道路交通法第65条(酒気帯び運転等の禁止)の罰則の強化についての改正道路交通法施行
- 酒気帯び運転(0.15mg/ℓ以上0.25mg/ℓ未満)の新設及び飲酒運転等悪質・危険な違反行為に対する点数の引き上げについての改正道路交通法施行
- 平成14年12月25日 危険運転致死罪の新設についての改正刑法施行
- 平成18年 8月25日 福岡市内で飲酒運転により幼児3人が死亡
- 平成19年 9月19日 飲酒三罪の新設及び飲酒運転に対する罪則の強化についての改正道路交通法施行(車両等提供罪、酒類提供罪、同乗罪)
- 平成21年 6月 1日 飲酒運転等の悪質・危険な違反行為に対する点数の引き上げについての改正道路交通法施行令施行